

液体ガラピカ精密 施工説明書

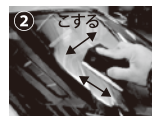
用途: ガラス用特殊研磨剤

ガラスの焼け・白濁化の透明回復、
微細傷消し、コーティングの下地作り、
うろこ状汚れ・油膜の除去

1. 通常程度の油膜・水垢除去の場合

●手作業 本品+フェルトパッド ハンディ/ハンディミニ

- ①傷の原因にならないようガラス表面の泥や砂などの汚れをしっかりと水洗いして落としてください。
- ②本品をよく振ってからパッドに液を適量出し、縦横に液が弾なくなるまで研磨します。
- ③液が残らないように濡れタオルなどで拭き取り、軽く擦りながら水洗いしてください。



フェルトパッド
ハンディ/
ハンディミニ
(M036/M0361)

●オービタルサンダー作業 本品+サンダー+フェルトパッド M式オービタル用

- ①傷の原因にならないようガラス表面の泥や砂などの汚れをしっかりと水洗いして落としてください。
- ②パッドを少量の水で湿らせてサンダーに正しく装着します。※サンダーは弊社製の専用パッド仕様をお勧めします。
- ③本品をよく振ってからパッドに液を適量出し、ガラス面に正しく設置させてから電源を起動し、液が弾なくなるまで研磨します。
- ④液が残らないように濡れタオルなどで拭き取り、軽く擦りながら水洗いしてください。



推奨工具
AS550M/京セラ製
フェルトパッド
M式オービタル用
(M031)

●ポリッシャー作業 本品+ポリッシャー+ウールパッド180Φ 【傷消し・リペア】

- ①傷の原因にならないようガラス表面の泥や砂などの汚れをしっかりと水洗いして落としてください。
- ②パッドを水で濡らして湿らせ、ポリッシャーに正しく装着します。
- ③本品をよく振ってからパッドに液を適量出し、ガラス面に正しく設置させてから電源を起動し、液が弾なくなるまで研磨します。※遅い回転(600rpm)から始め、慣れたら早い回転(1500rpm)に調整してください。
- ④液が残らないように濡れタオルなどで拭き取り、軽く擦りながら水洗いしてください。



推奨工具
APE201/京セラ製
ウールパッド180Φ
(M045-1802)

2. 強力作業の場合

●ポリッシャー作業 本品+ポリッシャー+中間クッションパッド170Φ+ナイロン強力パッド180Φ

- ①傷の原因にならないようガラス表面の泥や砂などの汚れをしっかりと水洗いして落としてください。
- ②ポリッシャーに中間クッションパッド、ナイロン強力パッドを正しく装着します。
- ③ガラス表面が乾燥、または少し濡れている状態で作業をします。※水浸しの場合液が薄まり効果が得られません。
- ④工具を低回転(600rpm)に設定し、本品をよく振ってからナイロン強力パッドに液を適量出し、ガラス面に正しく設置させてから電源を起動してください。
- ⑤慣れるまでは作業面の4分の1くらいの小さい範囲で作業を行ってください。その範囲に液が馴染むように満遍なく研磨し、液が馴染んできたらそのまま液を足さずに高速回転(1500rpm~2000rpm)で一気に研磨してください。ガラス表面の液剤が乾いて透明なガラスの素地が見えるまで磨きます。
- ⑥液が残らないように濡れタオルなどで拭き取り、軽く擦りながら水洗いしてください。



推奨工具
APE201/京セラ製
中間クッションパッド
170Φ(M119)
ナイロン強力パッド
180Φ(M029)

通常作業・強力作業のポリッシャー作業の工具はAPE201/京セラ製(シングル回転)を推奨していますが、ダブルアクション、ギアアクションでも作業可能です。しかし、強力研磨作業はシングル回転の方が強い効果が得られます。

3. ご使用にあたって

- ・汚れが頑固で良い結果が得られなかった場合は姉妹品の「液体ガラピカ強力」や「ガラピカシート(ダイヤシート)」をご検討下さい。
- ・液が残り少なく、濃くて使いづらい場合は水道水を少し入れてよく振って調整してください。
- ・尖がりキャップ口が詰まり液が出にくい時は、無理に出そうとすると液が飛散する恐れがあるためご注意ください。キャップを一度取り外し水洗いするか尖った工具などを使用して詰まりを解消してください。
- ・保管の際は必ず密栓し直射日光の当たる場所や40℃以上になる場所、凍結する場所には置かないでください。

⚠ 注意

●用途以外には使わないでください●塗装を施したものの(青色などの色付きサイドミラー)には絶対に使用しないでください●シミになる恐れがあるので衣類に付着しないようにしてください●炎天下や寒冷時には拭き取りにくくなるので使用しないでください●シミや変色の恐れがあるのでガラス以外の塗装面やレザーシートには使用しないでください●乾燥後白い粉が残る場合は綺麗な濡れタオルなどで拭き取ってください●新たな油膜の原因となりますので拭き取りに使用するタオルなどは柔軟剤を使用したものや油分の付着したものは使用しないでください●皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので保護手袋を使用してください。

